

「宮崎県病院事業経営計画2021」改定（素案）に対する意見募集の結果について

「宮崎県病院事業経営計画2021」改定（素案）について、県のホームページなどを通じ、県民の皆様からの御意見を募集してまいりました。

その結果、2名から9件の御意見をいただきました。貴重な御意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

いただきました御意見の要旨及び県病院局の考え方につきましては、以下のとおりです。

| 番号 | 項目 | 意見の要旨 | 県の考え方 |
|----|----------------------------------|--|--|
| 1 | 地域の医療機関等との機能分化・連携強化（県立日南病院）（P42） | 県南地区の地域医療体制は脆弱であることから、地域医療支援病院として、地域一体となった医師確保対策や体制づくりなど、これまで以上に県立日南病院が先頭に立って地域医療を支える取組を強化していく必要がある。 | 人口減少も踏まえた日南串間医療圏の将来的な地域医療のあり方については、地域医療構想調整会議等の場で、地元自治体や医療機関、医師会等と連携して検討してまいります。 また、地域の中核病院として、合併症等リスクの高い患者の受入れを積極的に行う等、第二次救急医療施設としての役割を引き続き果たしてまいります。 |
| 2 | 地域の医療機関等との機能分化・連携強化（県立日南病院）（P42） | 記載されている内容を具体化する施策について、適切な時期に、地域の医療機関や住民に対して示していただきたい。 | 機能分化・連携強化の取組については、日南串間地域医療構想調整会議等で協議し、理解を得た上で、地域の医療機関や関係する自治体と連携し、住民に対して丁寧な説明を行ってまいります。 |
| 3 | 経営健全化に向けた取組の強化（県立宮崎病院）（P25） | 県内でも有数の高度医療を実施しているが、コロナの病床確保料が減額される中で、今後は採算性を考慮した経営方針を考える必要がある。 | 今年度、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、病床確保料が減額となったこと等により、県立病院の経営状況が悪化しております。 県立宮崎病院では、新病院の機能を最大限に活用した収益増への取組を強力に推進するなど、職員一人ひとりが経営状況に対する強い意識と経営参画意識を持って、収益の確保、費用の節減に取り組んでまいります。 |
| 4 | 経営健全化に向けた取組の強化（県立延岡病院）（P34） | 医師数が少ない状況で、高度医療を実施しており、入院単価も高く、効率性・人事管理等において、相当の努力をしていることがうかがえる。 | 県立延岡病院では、経営改善に向けた取組を更に推進し、県北地域における高度医療や救急医療を提供する中核病院として、引き続きその役割を果たしてまいります。 |

| 番号 | 項目 | 意見の要旨 | 県の考え方 |
|----|-------------------------------------|---|--|
| 5 | 経営健全化に向けた取組の強化 (県立日南病院) (P43) | 全国的に200床～300床の公立病院では、急性期病院のみでは、患者数も減り、高齢者も増加していることから採算が取れなくなっている。 医業収益に対する人件費率も高い状況であり、今後、採算性を考慮した経営方針を考える必要がある。 | 日南病院は、人口減少や少子高齢化の影響による医療需要の減少等により、厳しい経営状況となっております。 将来にわたって日南串間医療圏の地域医療を守っていくため、病院機能の見直しや救急体制の強化等の経営改革に取り組んでまいります。 |
| 6 | 県立病院の経営全般について | 労働生産性を上げるには、現場が予算を使い、投資ができることが大切である。 | 県立病院事業では、地域の医療ニーズに合わせ、病院ごとに予算を編成し、執行しております。 今後とも、地域の医療需要に応じて高度で良質な医療を提供するため、必要な投資を行ってまいります。 |
| 7 | 県立病院の経営全般について | 技術の優秀さよりも、継続して儲ける構造を作ること。 また、新しいテクノロジーを採用してIT・AIの利活用も必要である。 | 収益向上のため、コンサルタントを活用した病院機能評価係数の向上及び新たな施設基準や加算の取得による診療報酬の確保、地域医療機関との連携による急性期病棟の効率的な運用等に取り組み、経営の健全化を目指してまいります。 また、国が進める医療DXを踏まえ、病院機能のデジタル化を推進してまいります。 |
| 8 | 県立病院の経営全般について | 医師不足に関しては特定看護師の活用を推進していただきたい。 | 一定の診療の補助である特定行為を行うことができる看護師を活用していくことは、医師不足や働き方改革のためのタスクシフト／シェアの取組のひとつとしても重要であると認識しております。 また、令和6年度からは、県立宮崎病院において特定行為研修を実施し、特定看護師を養成することとしております。 |
| 9 | 県立病院の経営全般について | 労務管理などに関しては、優秀な事務スタッフ(労働法に強い人材、IT・AIに強い人材)を揃える必要があるかと思われる。 | 職員が働きやすい環境を整えていくために、労務管理は重要であると考えております。 職員の配置については、適材適所に行っていきたいと考えております。 |